その時生まれたもの

本調子

工工四	歌詞
六 六七工 ○ 中 ○ 工 ○ 中 六七工 ○	
中 ○ 合 ○ 六 六七工 ○ 中 ○ 工	
老 中尺四 ○ 六 ○ 七 ○ 六 ○ 四 ○	
六 ○ 七 ○ 合 乙 上 ○ 合 四 上 ○	おおぞらにかが
四 上 中 ○ 合 ○ 乙 ○ 合 ○ 上 ○	やくほしよりもちいさ
合 四 上 ○ 四 上 中 ○ 中 工 中 ○	なしまのまちあかり
合 工 五 ○ 五 七 六 ○ 五 工 工 ○	まちのあかりがうつ
五 合 五 ○ 乙 ○ 上 ○ 合 中 工 ○	くしいうつくしいこ
五 工 尺 中 上 ○ 四 ○ 六 ○ 七 ○	とをしりました
六 ○ 工 ○ 六 ○ 七 ○ 合 乙 上 ○	じゅうに
合 四 上 ○ 四 上 中 ○ 合 ○ 乙 ○	んといろであればこそ
合 ○ 上 ○ 合 四 上 ○ 四 上 中 ○	またたきかがやきをます

その時生まれたもの

本調子

ひかり	そこにかぞ
中	工
工	中
中	○
○	合
合	工
工	五
五	○
○	五
五	七
七	六
六	○

くがみえまし	たそこに
五	工
工	工
工	○
○	五
五	合
合	五
五	○
○	乙
乙	○
○	上
上	○

ひとびと	とがみえました
合	中
中	工
工	○
○	五
五	工
工	尺
尺	中
中	上
上	○
○	四
四	○

	あじぶん
合	四
四	老
老	○
○	工
工	六
六	七
七	○
○	六
六	○
○	七
七	○

のたにめ	いた
八	○
○	工
工	○
○	尺
尺	○
○	中
中	○
○	合
合	四
四	上
上	○

きるより	
中	
○	
工	
○	
五	
○	
中	
工	
合	
四	
老	

ああなたの	た
工	○
六	工
七	○
○	六
六	○
○	七
七	○
○	八
八	○
○	工
工	○

めにくらし	た
尺	○
○	中
中	○
○	合
合	四
四	上
上	○
○	合
合	四
四	上
上	○

いとそのと	
中	
工	
上	
合	
工	
○	
上	
合	
中	
○	
四	
○	

きあか	
七	
○	
六	
○	
合	
工	
五	
○	
七	
○	
工	
○	

合	
工	
上	
○	
合	
中	
工	
○	
合	
中	
上	
○	

合	
四	
四	
○	
合	
中	
工	
○	
中	
○	
四	
○	

その時生まれたもの

本調子

七　〇　六　〇　合　工　五　〇　七　〇　工　〇

合　工　上　〇　合　中　工　〇　合　中　上　〇

合　四　四　〇　六　〇　七　〇　六　〇　工　四　合

一、大空に輝く　星よりも
小さな島の　街灯り
街の灯りが　美しい
美しいことを　知りました

十人十色で　あればこそ
またたき輝きを　ます光
そこに家族が　見えました
そこに人々が　見えました

ああ　自分のために　生きるより
ああ　貴方のために　暮らしたいと

その時　灯りが　生まれました
その時　灯りが　生まれました

二、明日来るはずの　幸よりも
過ぎてゆく昨日の　苦しみが
苦しみの方が　いとおしい
いとおしい事を　知りました

一期一会であればこそ
傷つきいたわりを　ます心
そこに定めが　聞こえました
そこに命が　聞こえました

ああ　自分のために　歌うより
ああ　貴方のために　届けたいと

その時唄が　生まれました
その時唄が　生まれました